部活動の研究　　担当　板床　龍哉

研究テーマ　「本県の運動部活動の活性化をめざして」
～魅力ある運動部活動を運営するために～

1　はじめに

昨年度は、上記テーマでアンケート調査を行い、県下中学校の運動部活動加入者と部活動数について考えた。結果的には生徒数の減少に伴い部活動加入者も減り、試合に出場するための部員数ギリギリで運営しているところが少なくなかった。しかも、中学総体が終わり３年生が引退すると、単独校では試合に出場できない部もあった。部活動数を減らせば簡単なことであるが、現在活動している部員や次年度のことを考えると、簡単に部を減らすということができない状況があった。

本年度から熊本市を除く小学校の部活動が社会体育へ移行になったが、どれくらいの学校が社会体育へ移行しているのかというと、環境整備や受け皿等の問題で一部でしか移行できていないという話も聞く。実際のところはどの程度進んでいるのか把握したいところである。心配されている部員を確保し、部活動を活性化させるには、運動部活動の指針に則った魅力ある運動部活動の運営をすることではないだろうか。「クラブチーム」より「部活動」と保護者が納得するような部活動運営をして行くには、どのようなことをしていかなければならないか、そこにはどんな課題があるか等を考えて行きたい。

2　運動部活動の運営について【アンケートより】

(1) 部活動運営に関する検討について（問１・問２）

検討会はアンケートに回答いただいた５９校全ての学校で行われていた。多くは体育科や職員会議で検討がなれているようである。内容としては、部活動の日数や時間に関することが多く、特に本年度は「家庭の日」で第１日曜日が部活動中止になったことを受け、徹底がなされたのではないかと想像できる。次は外部指導者に関することであった。昨年度は少なかった部の増減に関することは倍増した。

(2) 生徒のニーズに応えた魅力ある運動部活動の推進について（問３・問４）

生徒のニーズに応えるために必要なことや、実施することが難しいことについては、指導者に関することが最も多く、「指導者の確保」「指導者の専門性」「指導力」など必要であるが、なかなか確保するのが難しい状況にあることがわかった。次は施設、用具関係、部員数となった。

(3) 小学校部活動の社会体育への移行の影響について（問５・問６）

小学校部活動の社会体育への移行に伴い影響を心配する声が昨年度から聞かれていたが、本年度のアンケートの結果では、５９校の中で実際に影響が出たのは８校（１３．６％）であり、その内容は部員の減少やクラブチームへの流出ということだった。さらに、影響が出た学校を含め５３校がこれからの影響を心配している。影響がなく心配もしていない学校は、中高一貫校やすでに小学校と連携している学校だった。

(4) 魅力ある部活動の紹介について（問７）

魅力ある部活動の取組を紹介してもらったところ、いろいろな取組をされていましたので紹介します。

〇中高一貫校で、中体連後高校の部活動に早期入部して高校生と一緒に練習している。
〇小学校の部活動と合わせた部を設置し、一緒に練習している。
〇町の行事（駅伝大会等）に積極的に参加している。
〇部活動で挨拶運動や朝掃除をしている。（多数）

（　　）郡・市　（　　）中学校

運動部活動の運営についてのアンケート　記入欄

問1	魅力ある部活動を運営するために、検討会をしましたか（予定を含む）複数可	
(1)	体育科で検討した。	62.7%
(2)	職員会議で検討した。	76.3%
(3)	運営委員会で検討した。	50.8%
(4)	PTAを含む校内委員会で検討した。	30.5%
(5)	その他（　　）	8.5%
問2	検討した内容をお答えください。	
(1)	活動日数や時間に関すること	83.1%
(2)	活動内容に関すること	59.3%
(3)	顧問やコーチ等指導者に関すること	76.3%
(4)	設置部活動の増減に関すること	49.2%
(5)	その他（　　）	3.4%
問3	生徒のニーズに応えるた魅力ある運動部活動を推進するために、必要であると考えられるもの3つを答えてください。	
(1)		
(2)		
(3)		
問4	生徒のニーズに応えるた魅力ある運動部活動を推進するために、必要であるが実行や入手困難なものがあればお答えください。	
(1)		
(2)		
(3)		
問5	熊本市以外では、小学校の部活動が社会体育への移行が始まりましたが、中学校の部活動に影響がありましたか。	
(1)	あった（内容:　　）	13.6%
(2)	ない	86.4%
問6	問5について、今後影響が出ると考えますか。	
(1)	影響が出る	89.8%
(2)	影響ない	10.2%
問7	自校の運動部活動の中で、魅力ある取組を紹介してください。	

3　まとめ

小学校の部活動が社会体育への移行が始まり、すでに影響が出ている学校がある中、小学校との連携により影響が出ていない学校があり参考になった。どの学校も地域の行事に参加したり、朝掃除や挨拶運動をしたり、また、部活対抗の駅伝大会を開催したりして特色があり魅力ある部活動の運営をされていると感じた。昨年度あまりなかった部活動の再編が多くの学校で行われており、生徒のニーズと学校の施設・用具等を加味して再編がなされていくであろう。しかし、指導者不足（指導力不足）を心配する声も多い。県で主催されている体育実技指導者講習会等への参加や、中体研で行っている、夏休みの実技講習会なども指導力を向上させるのに大いに役立つと考えられる。積極的に参加を考えていきたい。